

3.3 OYO システム

OYO システムのブロック図を Fig. 3-3 に示す。本システムは、物理探査用に使用されてきたシステムであり、応用地質株式会社が所有している。本システムは、物理探査用であるが、 γ 線を測定できるシステムであったため、今回の作業に使用した。検出部は、PICODAS 社 (Canada)、システムとして SINTREX 社 (Canada) の製品を利用している。検出器は、4 システムの中で一番大型であるが、ノイズ低減のため、低エネルギー側の計数をカットしており、線源効率率は NUSTEC システム及び FUGRO システムと同程度になっている。位置データは GPS で採取している。本システムの検出器は機外搭載型であり、NUSTEC システムと同様に搭載できる機体が航空法の修理改造検査に合格していなければならない、機体は専用機 (中日本航空 AS350B3) となる。本システムには、機体の位置情報をリアルタイムに表示できる機能がないため、別のアシスト PC により位置を確認しながらフライトする。

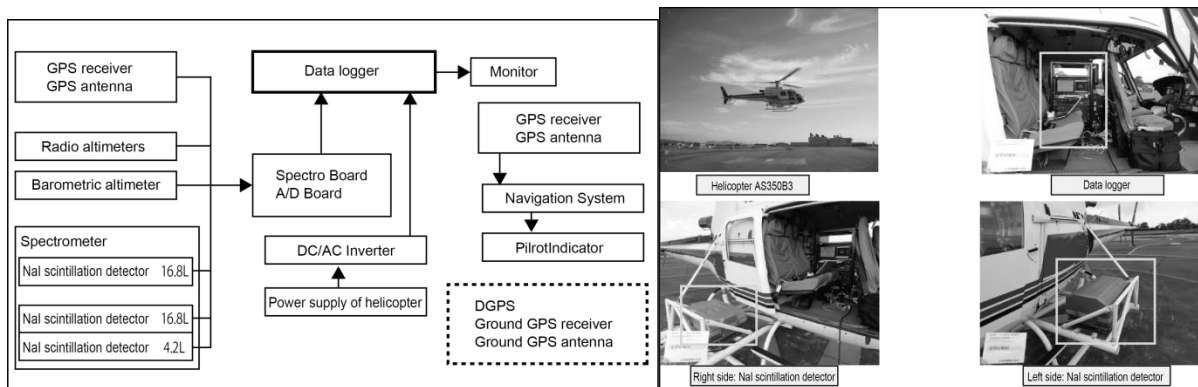


Fig. 3-3 Block diagram of OYO system